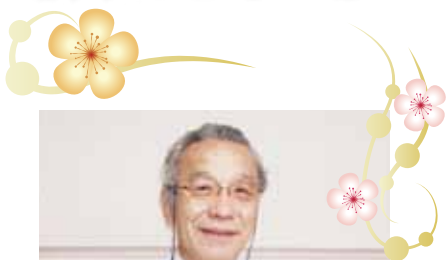


ねつとわーく

2017年1月号
社会福祉法人 とよさと
〒529-1168
滋賀県犬上郡豊郷町八目49番地
TEL.0749-35-0333
FAX.0749-35-2123
URL:<http://stepup21.or.jp/>
発行責任者
施設長 大橋 弘

新年のごあいさつ



社会福祉法人 とよさと
わかばやし なおゆき
理事長 若林 直之

新年おめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

社会福祉法人とよさと・彦愛犬地域障害者支援センター「ステップアップ21」は、知的障害者・精神障害者・身体障害者の三障害に対応できる関西初の生活支援センターとして、平成14年に事業を開始し、今年15周年を迎えました。

この間、障害者福祉サービスが措置制度から平成15年に支援費制度へ、平成18年には障害者自立支援法へ、更に平成25年におきましては障害者総合支援法へと障害者福祉施策は変換し、今後もさらに変化する事が予想され、障害福祉は益々難しい時代を迎えています。

そんななか、地域社会におけ



栗東さきら音楽祭!

11月19日(土)、音楽祭に参加しました。
緊張したけれど、大成功でした。

る福祉の発展・充実が私共の役割であり、使命であると実感しております。

今後も利用者様の人権尊重を基本にプライバシー保護や個人情報保護の保護に職員全体で徹底して努めてまいります。

「ステップアップ21」としましては、今後も良質かつ安全で安心していただける、より質の高いサービス提供を実施してまいります。そのためにもサービスを支える人材育成が重要であ

るという考えに立ってさらに専門的な知識・技術の習得に努めてまいります。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げますと共に、今年も職員一丸となって頑張っておりますのでよろしくごお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



～デイサービスより～
**栗東さきら音楽祭に
参加してきました！**

11月19日（土）、デイサービスの音楽活動メンバーで、「第15回糸賀一雄記念賞音楽祭」に参加してきました。

参加者さんは夏頃から、「音楽祭楽しみ」と口々に言っておられ、練習にも熱がこもっていました。

リハーサルでは、さすがに緊張した様子で、表情が硬くなっている参加者さんも数人見られ、楽しみと不安が入り混じった表情をしていました。

本番当日は朝が早いにも関わらず、参加者さんは元気いっぱい、「頑張ろう」「大丈夫、絶対成功させよう」と、前日の緊張した面持ちは晴れやかな笑顔に変わっていました。

出番が来るまではそわそわした様子でしたが、本番では練習の成果もあり、大成功！お客様からたくさん拍手をいただき、皆さんほっとした表情でした。

帰りの車内では、眠っている参加者さんもおられ、とても疲れている様子でした。

皆さん、本当にお疲れ様でした。（記：金子）



自立課題の紹介

今回は、ホームヘルプサービスで提供している作業の課題を紹介します。

この課題は、封筒に指示された通りにカードを入れていく課題です。



「間違えたらどうしよう」という不安から、新しい課題への挑戦が難しい参加者さんがおられました。そこで、作業の課題に本人が興味のあるキャラクターを使うことにしました。

好きなキャラクターの課題を見て「やってみようかな」と挑戦する事が出来ました。難しいと思っていた課題に挑戦が出来たことで、「自分にもできた！」とにっこりされ、それが自信につながります。

ホームヘルプサービスやデイサービスの作業活動では、1人ずつの力や、興味のある事、馴染みのある物を活用しながら、課題の作成や提供をしています。（記：尾田）



同様に参加者さんが興味のある新幹線を取り入れた課題もあります。

～地域生活Ⅰ型より～

女性サロンでプラネタリウムを見に行きました！

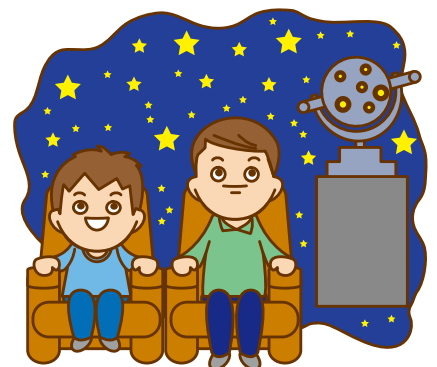
11月の女性サロンで、守山市のラフォーレ琵琶湖にある、プラネタリウム「デジタルスタードーム ほたる」に行ってきました。

ほたるでは、様々な内容のプラネタリウムを上映しており、今回は、その中でも「夢☆伝説～はるか時を超えて～」を観賞しました。ナレーションの男性が、初めての人にも分かるように、ジョークを交えた解説を行っていたので、「クスクス」という笑い声が起こっていました。

参加者さんは、プラネタリウ

ムに来るのは初めての方や、昔に来たことがある方がおられました。見終わった後、「面白かったな～」「あれどういう意味なんやろう？」と口ぐちに話しておられました。

（記：後藤）



～デイサービスより～ Bルームでの外出

今年度の半ばからAルームとBルームに分かれて外出を企画しています。今までは合同で外出をしていましたが、自閉症スペクトラム症の参加者さんが多くおられるBルームでは、集団での外出にしんどさが見られる場面が多々ありました。そこで、小集団で体験活動や買い物等に出かける事になりました。

11月25日の外出は、永源寺に紅葉狩りと奥永源寺溪流の里での買い物、食事に行ってきました。天候にも恵まれ、参加者さんも落ち着いて散策を楽しまれました。



紅葉をバックに皆で
記念撮影をしました！

待ちに待った昼食は、近江牛バーガーやダムカレー等、ポリユームのある食事に皆さん大満足されていました。帰りには池田牧場に立ち寄り、美味しいジェラートに舌鼓を打ちました。

参加者さんからは「また、今度来ようね」、「楽しかった」の声も聞かれ秋を満喫した一日でした。
(記：山口)



～防火訓練について～

ステップアップ21では、夏季と冬季に防火訓練を行っています。

訓練内容は、消防署への連絡通報・初期消火・参加者さんの避難誘導の3つの訓練をしています。

中でも避難誘導は、参加者さんの安全を優先し、1秒でも早い避難ができるように努めています。歩行が困難な方や、車椅子を利用しておられる方も、災害時と同じように職員の介助のもと、避難場所まで移動されました。



素早く安全に避難をする訓練です。
階段を下りているところです。

火災に限らず、災害はいつ発生するか分かりません。もし、災害が起こった際に参加者さんも職員も混乱せず、冷静な判断ができるように訓練に取り組んでいます。



初期消火の訓練です。
消防士さんに方法を教えてもらいながら、慎重に火元に消火器を向けています。

参加者さんからは「火災報知機の音にびっくりした！」「少し怖かった」「車椅子を持ってもらって階段を下りた時に緊張した」と感想があり、緊張感を持って避難訓練に参加してくださいました。

(記：加藤)

今年の職員目標

ステップアップ21では、新年を迎えると、施設長から今年一年の職員に向けた目標が発表されます。

2017年のステップアップ21の目標は「常に自覚と責任を持ち、連携・協力して、業務の向上・改善に積極的に取り組む職員であること。」です。

「自分たちの仕事に責任と誇りを持ち、誠心誠意のサービス提供と地域への貢献を目指して欲しい」「専門性を磨き、自らのキャリアアップを意識して業務にあたってほしい」との思いが込められています。

職員全員がスローガンを意識して、自覚と責任を持ちながら業務にあたるようにしていきます。
(記：尾田)

～デイサービスより～ みんなでクリスマスの物づくり

デイサービスでは、今回も秋頃からクリスマスに向けた物づくり活動がスタートしました。参加者さんによって、来られる日が違うため、みなさんに少しでもクリスマスの活動に参加してもらえるようにと、少し早めの時期から毎年準備を進めています。

「さて、今年は何から始めようかな？」と話し合い、職員から「掲示板ににぎやかな壁紙を作ろうよ」と提案がありました。クリスマスが迫ってくると色々アイデアが出てきて、今回も「時間が足りない！」と言いつつ合いながらも完成しました。

参加者さんが折り紙でサンタさんを折ったり、トナカイさん等の絵に色を塗ったりして出来上がりました。お星様もたくさん輝いた、想像していたよりもにぎやかな壁紙に仕上がり、みんなで大歓声をあげました。

(記：薩摩)



大勢の参加者さんがクリスマス会の準備を手伝って下さいました。

～新入職員紹介～



たかぎ なおき
高木 直樹
(ケアワーカー)



- 好きな色「みかん色」
- 趣味「食べ歩き、TRPG」
- 皆さんに一言
「大きな身体ですが、怖がらずに気軽に話しかけてください。よろしくお願いします。」

サロンの利用について

サロンは、主に精神障害者手帳や自立支援医療をお持ちの方を対象にプレイルームを開放している事業です。利用を始めるには、見学、登録が必要です。

開所時間は午前9時から午後4時まで、その時間内であれば、来所・退所は、いつでも大丈夫です。

また、サロンの利用ごとに事務所に置いてある「サロン受付名簿」に日付と名前を記入してください。自由に来所・退所ができるサロンですので、誰が来られているのか把握をするために始めることになりました。ご協力をお願いいたします。

日ごろの活動は、テレビを見たり、新聞を読んだり、他の利用者さんと将棋をしたりと、思い思いの過ごし方をされています。また、月に1度「お楽しみ企画」などを実施しております。



このようなノート
を、玄関前の事務
所に用意していま
す。

登録や活動、ノートの場所など、分からない事は、職員にご連絡ください。

ご利用お待ちしております。

(記：田口)

編集後記

明けましておめでとうございます。

皆様、去年はどんな一年だったでしょうか？仕事だけに限らず生活を送る中で、「こうなればいいのになあ」「それは違うのになあ」と思う事はありませんでしたか？それに対して、「私には関係ない」「誰かが言う・するだろう」と思ったこと

はなかったでしょうか？

糸賀一雄氏の言葉で「自覚者が責任者である」という言葉があります。

自分が気づいた時点で、自分にも責任が発生する。誰かが変えてくれるのを待つのではなく、自分から生み出していき、自分を変えていく。という姿勢を持って、今年一年を後悔のないように励んでいきたいです。

(記：尾見)